

2020年度 唐津市立第一中学校 教育計画

(1) 本校教育目標

信頼される人になる

望む学校像

礼儀の学校・・・元気な挨拶と正しい言葉遣い
きれいな学校・・・整理整頓され、ぬくもりのある環境
静かな学校・・・落ち着いて、学習に集中

望む生徒像

- (1) いのちと人権を大切に
思いやりの心を持つ生徒
- (2) 確かな学力を身に付け
正しい判断力を持つ生徒
- (3) 心身ともに健康で
根気強く努力する生徒

望む教職員像

- (1) 生徒から信頼され尊敬される教職員
- (2) 研修に努め日々成長し続ける教職員
- (3) 協力と連帯で明るい学校を作る教職員
- (4) 心身ともに健康で人間性豊かな教職員
- (5) 優しく厳しく教育愛に満ちた教職員

(2) 今年度の重点目標

- ① 人権・同和教育を通して、自他を認め合い、互いを思いやり尊重できる人権感覚を高めさせる。
- ② 「立腰教育」を柱とした授業規律の確立と生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し学習意欲を高めさせる。
- ③ 生徒の活躍の場面や承認する場面を増やし、自己肯定感を高め、規範意識と自己指導力を高めさせる。

(3) 学校運営の方針

①基本方針

- a 教職員の共通理解の下、一致団結し、共同歩調で活動を展開する。
- b 主体的に活動する授業形態を実践し、学力向上をめざす。
- c 出番、役割、承認をキーワードに先進的生徒指導に取り組み、諸活動を通して、自信とやる気を持った生徒の育成及び居場所のある学級づくりを目指す。
- d 毅然とした生徒指導と共感的生徒理解の実践により、安全で安心して学べる環境を確保する。
- e コミュニティ・スクールとして、保護者や地域と連携し、開かれた学校をめざす。

② 具体的方針

※①の基本方針 a はすべての項目の基盤である。

ア 校内研究の推進と学力の向上（b・e）

- a 授業中、生徒が考える場、話し合う場、発表する場を設定すると共に、家庭学習の充実を促し、生徒自身が主体的に学ぶ態度を養う。
- b ICT 機器等の利活用を含めた教材研究の充実を図り、わかる授業の展開を心がける。
- c 諸調査の結果をもとに実態を把握し、学習指導や指導法改善に活かす。
- d 授業研究会の実施により学習指導上の課題を共有し、その解決をめざすと共に、小中連携を推進し、学習指導面における地域ぐるみの取り組みを展開する。

イ 生徒指導の充実（c・d）

- a 「先進的生徒指導 壱流」の実践を通して、生徒の心情面に対する理解に努めると共に、信頼関係を基盤にした課題解決をめざす。
- b 立腰教育を柱にした、けじめのある落ち着いた学校生活のリズムをつくる。また、望ましい生活習慣を身につけるため、毅然とした生徒指導を行い、規範意識を高める。
- c 短時間グループアプローチ（壱魂トーク）を充実させ、人間関係作りの基盤とする。
- d 関係機関等との連携による、問題行動の早期発見と迅速な対応を図るため危機管理体制の確立。

ウ 心の教育の充実（c・e）

- a 教育相談体制を整備し、不登校生徒への組織的対応を充実させるとともに、不登校を出さない学校の雰囲気づくりをすすめる。
- b Q-U 検査を活用し、学級経営の充実やいじめ予防を図る。
- c 道徳の時間を要とした指導を充実させ、教育活動全体にわたって心の教育の推進を図る。
- d 地域連携活動を展開し、地域を愛し、清掃美化活動等進んで地域に奉仕する生徒を育成する。

エ キャリア教育の充実（c）

- a 社会人・職業人としての自立をめざすため、キャリアパスポートの利活用及び職業講話、職場体験等を通して健全な勤労観を育成するなどキャリア教育の推進を図る。
- b 自己理解の深化を図り、高校説明会、体験入学、先輩と語る会等を通して進路への意識を高め、それぞれの夢や目標を持たせると共に社会的な自立をめざす進路選択のための進路指導の充実を図る。

オ 人権・同和教育の推進（c）

- a 道徳教育及び特別活動を中心に、教育活動全体において人権・同和教育の推進を図る。
- b いのちと人権の尊重を基盤に、いじめや差別のない学級・学年・学校づくりを推進する。

カ 特別支援教育の推進（b・c）

- a 個々の教育ニーズの把握と能力の伸長という視点で特別支援教育の研修に努める。
- b 個々の生徒の実態に応じた合理的配慮に基づいた教育計画を立案しその推進を図る。

キ 体力の向上と健康・安全教育の徹底（c・d）

- a 授業や学校行事を通してスポーツ活動の充実を図る。
- b 部活動を学校の教育活動の中に位置づけ、その活性化と充実を図る。
- c いのちの尊厳を基盤に、がん教育や性教育、防煙教育、水難防止教育等の推進を図る。
- d 防犯指導、交通安全指導、薬物乱用防止教育等を通して、安全への意識の向上を図る。